

疑似体験教材 1 「検索サイト」

1. 対象 高校生
2. 指導目標 インターネットには自分たちにふさわしくないページも存在することを知らせると共に、ふさわしくないページを見ないようにする態度を育てる。
3. 授業展開

段階	学習活動	留意点
導入	検索サイトを利用した経験について話し合う。	役に立ったことや困ったことなど、自由に発言させる。
展開	○疑似体験 疑似体験教材 1 「検索サイト」で、ネットワーク利用を疑似体験する。 ○課題提起 1 インターネットで情報を検索するときには、どんな点に気をつけたらいいでしょうか。 ○課題提起 2 自分たちにふさわしくないページに出会ったら、どのようにしたらいいと思いますか。 ○解説 解説ページを参照し、自分たちにふさわしくないページを見ないようにする態度が大切であることを再認識する。	自分たちにも起こりうることであることを認識させる。 疑似体験の中でどうすべきか悩んだことを思い浮かべさせる。 フィルタリングシステムにも、簡単に触れるようにする。
整理	○自分たちの取るべき態度について、全体で話し合う。 ○ワークシートに授業の感想を書き、本時の学習をまとめる。	ネットワークを気持ちよく使っていきたいとする感想も引き出したい。